

# 業務部速報

No. 17

発行 14. 8. 25

JR東労組 業務部

申6号 「事故の再発防止を求める！」

「事故の連鎖を断ち切り、命を最大の価値基軸とした安全風土の確立を求める申し入れ」提出！！

JR東日本は、2月4日に「グループ安全計画2018」を発表しました。安全計画には、JR東日本グループの安全に対する基本的な考え方の第一に「命を守る」ことを掲げ「お客様の死傷事故ゼロ、社員の死亡事故ゼロ」の実現が目指されています。

しかし、2月23日京浜東北線川崎駅構内列車脱線・横転事故以降も、重大事故が後を絶ちません。6月14日京浜東北線神田・秋葉原間の墜落死亡事故、7月14日武蔵野線北朝霞・西浦和間の蝕車事故、8月5日南長崎杜宅(仮称)新築工事現場での墜落死亡事故が立て続けに発生し、交通死亡事故を含め4名もの尊い命が奪われたことは残念でなりません。

重大事故が連続して発生している事態を労使が重く受け止め、事故原因と背後要因に迫り安全を最優先にしたJR東日本グループを確立しなくてはなりません。そして、JR東日本グループに働く全ての社員の「命を守る」ために、再発防止を具体的に講ずることが重要な課題です。

本部は、発生している事故に対する会社側の認識を明らかにさせ、下記の3項目を申し入れ、会社と議論を行います。

## ◆申し入れ事項

1. 「グループ安全計画2018」発表以降、重大事故が連続して発生している事に対する認識を明らかにすること。
2. 6月14日京浜東北線神田・秋葉原間での墜落死亡事故、7月14日武蔵野線北朝霞・西浦和間での蝕車事故、8月5日南長崎杜宅(仮称)新築工事現場での墜落死亡事故に至った原因と再発防止のための対策を明らかにすること。
3. 2件の交通死亡事故の背後要因をもとに、交通事故撲滅に向けた考え方を明らかにすること。

「安全計画2018」を絵に描いた餅にすることなく、JR東日本グループで働く社員の命を守ろう！！